

明石市立大蔵中学校だより「2021年10月25日(第135号)」

書あり 師あり 友ありて

～ 胸に響き、心に届いた合唱をありがとう ～

学校長 平田 高之



10月22日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、本年度も本校体育館で学年発表会形式の文化発表会を開催しました。市内では、合唱を取りやめ芸術鑑賞会に変更した中学校がある中、感染症対策をしながら何とか無事に開催することができました。デルタ株の流行による第5波の影響から開催の可否について悩みましたが、何とか実施できるよう音楽科、文化発表会実行委員会の教員を中心に、感染対策に工夫しながら進めました。本年度は当日もマスクをしたままの合唱で、2・3年生は昨年度の学年合唱の経験はありますが、1年生にとっては戸惑うことが多かったと思います。また、生徒間の距離をかなり離れたために、生徒たちは歌いにくかったと思います。特に3年生は、中学校生活最後の文化発表会ということで、どの学級も曲想や歌詞を理解しようと、強弱や速度の変化等を意識した素晴らしい合唱に感動し、私にとって心に残る文化発表会となりました。75回生の皆さん本当にありがとう！

「学校だより第132号」で合唱練習が始まる前に全校生徒へのメッセージを紹介しました文化委員長の〇〇さんですが、3年生の学年発表会後にも素晴らしいおわりの挨拶をしてくれましたので紹介したいと思います。

今回の文化発表会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な制限のある中での取組となりました。例年とは違い、教室では全員で合唱することができずマスクをしたまま1.5m以上離れるなど、今までにない方法で練習してきました。どんなことでも新しいことをするというのはとても大変なことで、簡単にできることではありません。ですが、そのような中でも、クラス全員で一つのことに取り組むという経験ができたことは感謝すべきことだと思います。

今、文化発表会を終え、結果に関係なく達成感を感じられているでしょうか。取組を始める際、放送で「今自分に何ができるかを考え行動に移して下さい」と伝えましたが、しっかりと取り組めたでしょうか。私たち3年生は、あと半年でそれぞれの道に進んでいきます。今回のスローガンである「胸に響け、心に届け ～今を大事に 気持ちを一つに～」のように、この合唱を通して少しでも今を大事に、気持ちを一つにできたのであれば、これからもっと飛躍できると思います。この文化発表会がみなさんの中学校生活の思い出の一つになっていることを信じ、これからも75回生全員で頑張っていきたいです。

これから75回生は、11月に進路希望の決定に反映される「実力テスト」「期末テスト」に11月・3・4日には中学校生活最後の大きな行事となる「修学旅行」があります。

76回生は、11月8日から、今年は5日間の「トライやる・ウィーク」、さらに、12月10日には、自分の学年たちが学校の中心となるための「生徒会役員選挙」があります。今回の合唱の取組を通して身に着けた力を学校全体で発揮してほしいと思っています。

77回生は、中学校生活初めての2大行事を通して学んだことを、今後の学級・学年での活動に活かし、充実した中学校生活を送れるようにしてほしいと思っています。

いずれにしても、保護者の皆様におかれましては、合唱の実施、さらに昨年度以上の人数制限や健康観察等にご理解・ご協力頂き本当にありがとうございました。引き続き、本校教育へご理解を頂き、学校・家庭が一体となり、より素晴らしい教育環境をお子様に提供できるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

美術部・カルチャー部のぞみ学級・教科の展示も充実

展示については、例年と同じ形で実施いたしました。特に、部活動での力作に加えて、のぞみ学級の普段の成果、教科の作品や先日お知らせした自由研究等、どれも大変クオリティーが高いものが多かったと感じました。



カルチャー部 作品



美術部・美術科・75回生修学旅行取組作品



各教科 作品



のぞみ学級 作品

吹奏楽部「第44回定期演奏会」も無事に開催できました

文化発表会では、本年度も映像による発表となりましたが、この23日に定期演奏会を無事に開催でき、関係の保護者・卒業生等にライブで見て頂けました。生徒たちにとっては観客の前で演奏する機会が少ない中でしたので、特に、3年生にとっては今まで支えて頂いた方々に聞いて頂けるということで、感謝の気持ちを込めて演奏してくれました。運動部に比べて活動期間が長く、勉強との両立が大変だったと思いますがお疲れさまでした。

